

**放送日** 令和6年1月4日（木）  
**担当者** 市長 上野 正三

みなさん、あけましておめでとうございます。

このお正月に土木事務所の皆さんには、31日から1日にかけて除雪をしていただき、新しい年を除雪をしたところで迎えられたのではないかと考えております。また、消防の皆さんは、救急活動など大変ご苦労頂いたのではないかと考えております。水道部の皆さんも、凍結の関係など、大変、このお正月にご苦労頂いたことに、心から敬意と感謝を申し上げる次第であります。

1月1日4時10分、能登地方の地震があり、大変な地震でありました。震度5弱から7の地震が11回、12回ですか、この三日間にあったということでもあります。

当市が、胆振東部地震では5弱が1回でありましたが、これを超える地震であり、多くの方々が亡くなったということで、亡くなられた皆さんに、心より哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さんにお見舞いを申し上げ、さらにまだまだ救助を待っておられる方がいると思いますが、この救助が進み、復興が進むことを念願をするものであります。

昨年の12月21日に防災訓練をおこないました。今一度、訓練を通して、この地震と合わせながら、自分がこれから何をやっていいのか、というようなことを改めて考えていただきたいと思っているところであります。

今年はこのまち、広島村開村140年の記念の年になります。和田郁次郎をはじめ、広島県人がこの原始の森に開拓の鋤を入れ140年であります。

開拓当時は一番の冷害の年であったと言われておりまして、ここは人が住むところではないという事で、諦めかけたのでありますけれども、和田さんがもう少し頑張るという事で、大変なご苦勞を頂いたところであります。

また、その前に明治6年に中山久蔵さんが、寒地稲作に成功して去年は150年でありました。

私たちはやはり、先人の多くの苦勞、まちづくりに対する思いを引き継いでまちづくりを進めなければならないと思っております。先人の努力、これがまちづくりに繋がるのではないかと思っております。

当市のキャッチフレーズは「アンビシャスシティ」でありまして、大志を抱くまち、挑戦するまちだと思っております。

今年はコロナの関係で、相変わらず経済対策、また低所得者対策をはじめ、教育対策など、多くの対策をしながら、また、ボールパークをはじめ、防災食育センターなど、将来のまちづくりに向けて大きな一歩になる年だと思っております。

皆さんには先人の思い、挑戦をすること、大志を抱くことを胸に、市民の皆様方が将来にわたって安全で安心して暮らせるまちづくりに向けて仕事をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

今年一年、皆様方にとしまして、市民の皆様にとりましても、家族の皆様にとりましても、幸多い素晴らしい年になりますことを、ご祈念申し上げましてごあいさつとさせていただきます。

1年間よろしくお願いいたします。